

いずみさの教育NOW



問合先  
学校教育課

運動したくなる気持ちが膨らむ授業へ

近年、全国的に子どもたちの体力低下が叫ばれています。特に、コロナ禍であったこの2年間で子どもたちの体力は大きく低下したと言われています。令和3年度にスポーツ庁から報告された「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果では、反復横跳びや20mシャトルラン、持久走などで課題が顕著に表れています。本市の子どもたちも例外ではありません。

体育の時間は身体的な接触や、声を出すことが多くあります。そのため、活動自体に制限がかかり、学習する領域や種目によっては、実施する時期や、学習内容自体を変更せざるを得ない状況となりました。また、体育の授業以外での体力向上の取組がしにくい状況があり、子どもたちが運動できる機会をなかなか確保できなかつたことが、体力低下に拍車をかける一つの大きな要因になったと考えられます。

このような状況で、まず子どもたちの運動する機会を確保することはもちろんですが、それだけでは十分とは言えませ

ん。それは、子どもたちの心の中にある「運動がしたい」「運動することが好きだ」と思う気持ちが膨らむ場面を多くつくることです。現行の小・中学校の学習指導要領（平成29年告示）でも、体力が向上することだけを目標に体育の授業を行うのではなく、全ての子どもたちが楽しく、安全に運動ができるようにし、その結果として子どもたちの体力が向上することを目標としています。

本市では、こういった子どもたちの前向きな気持ちを育む授業をめざしています。しないといけないから運動するのではなく「したいから運動をする」「したいから運動に関わる」時間が増えることで、結果として体力が向上し、義務教育が終わった後の人生においても、スポーツを楽しむことができることを願っています。そういった子どもたちの姿を想像しながら、引き続き取組を続けていきます。

学校園紹介



子どもたちの「したいやりたい」を引き出す取組  
～第二小学校～

第二小学校の一学期はあっという間に終わりました。毎日がチャレンジと学びの連続でした。今年、主体的・対話的に学ぶ力を育むために、全学年、全教科を通じて言語学習や表現活動に取り組んでいます。委員会活動も大変活発でどの委員会も自発的に考えた取組をどんどん発信してくれています。「二小フェスティバル」も工夫がいっぱいのすてきな取組でした。



また、各学年、1学期は、主体性を尊重した取組もたくさん行われました。第二小学校の中心にある中庭広場で、自分の得意とするところを表現する「二小すご技大会」は開催までに、オーディションも行われ、全校一丸となって大盛り上がりとなった取組でした。



応援の2文字が脳裏に浮かび上がるほど、みんなが出演者を応援しており、本当にすてきな時間でした。これからも、主体的にどんどん考え、チャレンジして欲しいと思います。

沖縄修学旅行  
～長南中学校～



長南中学校では、人権教育を柱として教育活動を進めており、その一つとして反戦平和学習にとりこんでいます。

3年生の修学旅行では反戦平和学習を中心に考え実施しており、今年度は2泊3日で沖縄へ行ってきました。訪問先では各施設の見学やききとり学習を通してこれまでの学習を実感することができました。特にガマの入壕体験はとても貴重な体験となりました。

また、本校では毎年、全学年が「沖縄慰霊の日」（6月23日）にあわせ沖縄について学習してきましたが、今年度は5月15日に沖縄返還50年ということもあり、特設授業を設定し、とりくみました。また、3年生は沖縄修学旅行の体験もあわせて、学びを深めることができました。

8月の反戦平和登校日において、各学年によるとりくみを発表しました。この発表の中で3年生は、今回の学びを平和の礎（いしじ）でのセレモニーの際に読み上げた「平和宣言文」を発表しました。

